

隊友会県本部だより

隊友会県本部だより(第33号)

発行責任者:兵庫県隊友会長 小川 祥一 編集責任者:中筋功二

兵庫県隊友会事務局:宝塚市ふじガ丘23-6 ☎090-2708-3451



新年ご挨拶

兵庫県隊友会長 小川祥一





~ 講話雑感その2 ~

事務局長 小林 一吉

昨年に続いて"講話雑感"です。今年度も 数回の講話や卓話の機会があり、国民と自衛 隊とのかけ橋として、防衛意識の普及高揚に 微力ながらも貢献できました。これら講話の 際に、「畿内の駐屯地は、旧陸軍が使用して いた土地(駐屯地や演習場)を引き継いで使 っていると聞きますが、どうして旧軍施設の 無い緑ヶ丘(伊丹駐屯地)や千僧に新たに駐 **屯地を創ったのですか?**」という質問を受け ました。これについて、現役時代から先輩及 び地域の方々から聞いた話、並びに文献等か ら次のようにまとめています。

- ① 地形的価値がある。
- ② 県警察学校廠舎の無償貸与を受けるこ とができた。

(現36 i 隊舎・体育館・音楽隊隊舎一帯)

- ③ 地主及び伊丹市の積極的誘致活動があ
- ④ 伊丹周辺には、旧軍施設があったが使 えなかった。

特に、①の地形的価値については、当時の 用地選定担当であった第3施設大隊施設班長 田中正典3佐(故人)が「荒木村重の故事に ならった」(※1 駐屯地新聞)と書き残して おられたようです。また、有岡城を含む伊丹 台地は戦国時代から、要害の地としての価値 が高いことは、戦史からも事実としてあり、 郷土研究「伊丹」(S11.6~9)には、伊丹を 探索した陸軍少将 戸波辨次(となみべんじ) が有岡城含め、「伊丹は要害の地」と折り紙 を付けておられます。

なお、これらは「いたみシティVol.54(2003.1月号) | に詳しく記述されています。

次に④について、旧軍施設は伊丹・宝塚・ 川西市にありましたが進駐軍が摂取し、米軍 の宿舎、引揚者の一時宿舎として利用してい たようです。(参照:**P2**地図)



Googleより引用

- ① 陸軍獣医資材支廠(現:北野・荒牧南付近)
- ② 陸軍兵器補給廠川西分廠 (現:山本野里官舎・久代・加茂付近)
- ③ 川西駐屯地・戦闘訓練場ほか
- ④ 伊丹駐屯地
- ⑤ 千僧駐屯地
- ※宝塚市平井山荘岩谷池周辺と伊丹市昆虫館 付近:高射機関砲陣地があったようです。

戸波少将の郷土研究「伊丹」9月号のむすび の一部(要約)を紹介します。

信長の数か月にわたる攻撃に難攻不落の有岡城も村重の反撃意志の無い(一時は混乱に乗びためな防御、村重の脱出、ついには混乱に乗るの脱出、ついには混乱に乗るの脱出、合いの強力を与えて守れなかった。要塞戦は戦勝を国境のならではなかった。破下の盟(ちのとい)をなさしむるの実力を備えて初めて盟(ちのというをなさしむるの。主利・河域の政策をは、地の利への依存など)である。以下略

依頼事項

- 1 (※1)田中3佐の書かれた当時の駐屯地 新聞お持ちの方おられましたらご一報ください。
- 2 前回に続いてのお願いです

先輩方々で警察予備隊又は保安隊時代の貴重なお写真をお持ちでしたら、一度拝見させてください。また、保管にお困りのご家族・ご近所の方がおられましたらご連絡お待ちしております。

引き続き、自衛隊と地域との関りについて調査して行こうと思います。

栄えある受章おめでとうございます

第39回危険業務従事者叙勲受章者

令和 4年 11月 3日付 (敬称略順不同)

瑞宝双光章

荒木優子(宝塚市) 臼井 誠 (加東市)笠井健治(姫路市) 工藤益義(西宮市)山下健 (伊丹市)

瑞宝単光章

田中 益穂(三田市) 西山 徳博(伊丹市)

野田隆治(宝塚市) 松本賢 (姫路市)

県本部主要活動状況 (令和4年7月~令和5年1月)

7月24日 青野原演習場殉職隊員慰霊祭

8月19日 中部方面隊業務管理教育担当

9月25日 近畿ブロック研修会(奈良)

10月 2日 中部方面隊創隊記念行事出席

10月 8日 阪神基地隊オータムフェスタ

10月 8日 第 3 師団殉職隊員追悼式 出席

10月11日 樋口季一郎中将銅像除幕式 出席

11月12日 姫路駐屯地殉職者追悼式

11月13日 姫路駐屯地創立記念行事

11月18日 兵庫地方協力本部創立記念行事

12月 4日 小野ハーフマラソン支援(東播支部)

12月11日 第2回理事役会

12月20日 姫路城クリーン作戦支援(姫路支部)

1月14日 防衛関係諸団体新年互礼会 出席

(伊丹宝塚川西地域支部)

支部便り

"ミニ防衛フェスタinたんば2022〟開催

丹波支部事務局長 谷水 雄一



令和4年も年の瀬となった12月24日の丹波市は、雪がパラパラ舞う朝を迎えていた。市内の大型商業施設、 "ゆめタウン"、の駐車場では、「オーライ!」「よーしっ!」と、自衛隊員たちのキビキビした大きな声が響き渡り、 "ミニ防衛フェスタ in たんば2022"、の開催準備が始まった。彼らは、陸上自衛隊青野原駐屯地と姫路駐屯地からこのイベントのために駆けつけてくれた隊員たちだ。

駐車場では配置された *短・近・中SAM 、、 *FH70、がその威容を誇るとともに、朝日に映えていた。また、制服試着や職業紹介コーナーのほか、自衛隊グッズ販売コーナーも設けられ午前10時からのイベント開始を待つばかりとなった。来場者の中にはチラシでイベント情報を聞きつけ、早くから車中で待機していたという熱心な来場者もいるなど、イベント開幕から多くの来場者で賑わった。

このミニ防衛フェスタは、初の試みとして、 主催:丹波市防衛協会、後援:丹波市、協賛: 隊友会丹波支部というスクラムで企画された。

ベント応援に駆けつけてくれた。彼らは人気を 二分し、小さな子供や家族との記念撮影で大忙 しとなり、会場を終始盛り上げた。一方、商業 施設併設のホール内では、子供から大人まで参 加できる "紙飛行機コンテスト"を開催。材料 はA4コピー用紙を使用し、折り方は参加者のオ リジナルで、その飛行距離を競った。この日ー 番は、大人の部では17m、子供の部では14mを 記録し、ホール内は紙飛行機と笑い声が一日じ ゅう飛びかった。

今日のイベントに参加することで、今まで自衛隊のことを少し遠くに感じていた人たちも、身近な場所で〝自衛隊を・見て・触れる〟ことで、ちょっぴり関心を持ってもらえた様子であった。何も知らずに買い物に来た人たちも、最初は「何事が起ったの!?」とびっくりしていたが、装備品展示の見学や紙飛行機大会にかいたが、装備品展示の見学や紙飛行機大会に参加してもらえるなど、クリスマス・イヴのイベント〝ミニ防衛フェスタ in たんば2022〟を大いに楽しんでくれた。

丹波支部が協賛を行ったこの防衛イベント、 準備は大変であったが、「自衛隊を遠くに感じ ていた地元の皆さんに、自衛隊を知ってもらえ た。」という大きな成果を得たことが一番うれ しい。なお、次回開催も視野に入っており、今 回同様に十分な準備を行って *第2回ミニ防衛フ エスタ in たんば、の開催成功を目指したい。

隊友会と会社は私の活力源です!

伊丹・宝塚・川西地域支部事務局長 田中 勝巳

自衛隊を定年退官した平成24年のある日、福田前支部長から「次の事務局長を頼む」と突然の依頼がありました。同年11月の支部役員会で事務局長交代が承認された後、段ボールー箱を超える簿冊等を申し送られ、慌ただしく事務局長の業務が始まりました。

一方、再就職先の会社では朝7時に出社し始業時刻までの約1時間にて、業務に必要な警備関係の試験対策と現場からの報告事項を確認、日中は契約をいただいている大阪市内のビルを巡回、夕刻からは、業務調整や報告などの業務で息つく暇もありません。

事務局長の業務を始めてみると、事務局及び 役員等への入退会者に関するメール連絡を始め として、会員証、総会資料及び支部規則等の郵 送業務、並びに会長の挨拶文起案や会員のご逝 去に伴う弔電処置など、業務は多岐にわたって いました。特に会員のご逝去に関しては会社で の職務中、通勤途中などにおいても連絡が入っく ます。こればかりは私の都合に合わせてれるわけではないので対応に苦慮することもありますが、電車を降りて、メモを用意して確認電話を行う、会議終了後は両応がであるなどを行い、ご逝去に対し迅速な対れたであるよう努めました。もちろん一報をくれたであるよう努めました。もちろん一報をくれたであるようがあるよう。また、事務局長の業務として、役員会所の開催がありますが、連絡と参加人員、場所の確保を他の役員と連携して行うなど、人との繋がりが欠かせません。

余暇では、ネットTVや海外ドラマを楽しむほか、川西市のジムで汗を流す等の習慣を取り入れ、毎日のストレスを発散しました。会社から21時過ぎに帰宅後、遅い夕食を摂りながら寝落ちする毎日と、仕事中に立ったまま寝るほどの疲れた毎日がしばらく続きましたが、3年目頃からは、ビル管理業務と隊友会業務のダブルワークにも慣れ、マイペースで行動できるようになりました。

ビル管理業務と支部事務局長業務のダブルワ友とないなかの大変さですが、会社は、支ですが、会社は、支でも周囲の仲間、特に隊友会においては、では、世間日もは、の人生においているWEB意毎もにいっているWEB意毎もにいっているWEB意毎もにいっているWEB意毎もにいっているWEB意毎はは、でははが、大ととはばられば、会社動とはないがあります。とからですが、は、の10年間においらですが、は、できます。ときまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、できまずでは、では、では、できまず、ときまず、としています。と考えています。

主要行事案内(令和 5年1月~令和 5年6月)

1月28日 中部方面音楽まつり

2月10日 中部方面隊業務管理教育

2月23日 第3師団定期演奏会

2月25日 支部長等合同会議及び第3回理事役会

3月下旬 練習艦隊入港歓迎行事

4月上旬 伊丹駐屯地創設記念行事

5月15日 第3師団創立及び千僧駐屯地創設記念行事

5月29日 青野原駐屯地創設記念行事

6月上旬 兵庫県防衛懇話会

6月 4日 第1回理事役会

6月24日 第63回兵庫県隊友会定時総会

6月下旬 全国隊友会定時総会

6月下旬 都道府県等隊友会長会同

6月下旬 同 募集協力者会同

物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

氏	名	所属	享年	他界日
普門	宗雄	姫路	85	令和4年 2月24日
刈屋	元巳	伊丹	87	令和4年 3月29日
川崎	孝司	伊丹	74	令和4年 5月16日
谷林	敬三	姫路	76	令和4年 7月 2日
壬生	勝信	伊丹	86	令和4年 8月 1日
藤井	勉	三田	76	令和4年 8月27日
小川	敏隆	神戸東	99	令和4年 8月29日
福井	豊	伊丹	87	令和4年 9月15日
瀧本	成夫	阪神	96	令和4年10月 1日
田中	隆夫	姫路	89	令和4年10月10日
角田	博幸	東播	65	令和4年10月17日
重村	和彦	阪神	87	令和4年10月20日
山本	一四	姫路	95	令和4年11月19日

令和4年度政策提言書を 防衛省へ提出

隊友会は、「国民と自衛隊とのかけ橋」として、国民の防衛意識の高揚や国の防衛・防災施策等への協力に関する各種活動の一環として、「防衛環境の改善・防衛基盤の育成発展に寄与する防衛諸政策のあり方などに関する政策提言書」を昭和47年から毎年、防衛省に提出するとともに国会議員や各界有識者などに送付しています。

平成28年から偕行社、水交会及びつばさ会が加わり4団体合同で作成し、より深く幅広い提言書となっています。

隊友会公式ホームページに掲載されていま すので、ご一読下さい。

隊友会

